

Q 子どもの教育費って本当に高い！ 国や学校でも何とかしてもらえませんか？

Fukui Teachers' Union
学校を知る、
教育を知る。

《回答者》福井県教職員組合

A 高校・大学だけでなく義務教育の現場でも、家庭環境の影響で学校生活を楽しめない子どもたちがいます。国は支援制度を設け、現場の先生方も努力をしていますが、さらに社会全体での後押しが必要です。



吉田和美
副執行委員長



水上裕次
書記次長

日本の公的支出は 先進国で最低レベル

—高校授業料の無償化などで、親の負担は減っているのかと思っていました。

水上 確かにそうですが、低所得世帯には高校の教材費や通学費などの負担が大きく、公立・私立の格差も広がっています。奨学金制度も十分とは言えず、全員が安心して学べる状況にはありません。経済的理由で大学進学を諦めるケースは多々あります。

景気停滞の中、世帯年収は減り続けています。しかし年収に占める教育費の割合はほとんど変わらず高止まり。国の教育ローンを利用しての勤務者世帯の実態調査では、子ども2人世帯の負担は年収の平均40.1%と過去最高を記録しました。

吉田 義務教育の現場にも、その影響が出ています。経済的理由で就学が困難な小中学生の保護者に対し、教材費や給食費などを援助する「就学援助制度」の受給者は、福井県でもここ数年増え続けています。実際は困っていても手続きができず申請しない家庭もあり、学校ではその手助けもしていません。

水上 日本は、国内総生産(GDP)に対する教育の公的負担割合が3.6%、家計が教育費を負担する割合も高く、先進国の中で最低レベルと言えます。私たちは、「教育費は親の責任」という意識がありますが、北欧では、教育費の100%を負担している国もあるのです。

“学び”をサポートする 先生方の気配り

—教育現場では、こうした子どもたちのために何かしているのですか。

吉田 多くの小学校では、長期の休みに希望者を教室に集めて学習できる場を提供し、教師が質問にも答えています。教材は内容を吟味して必要なものだけを選び、金銭的負担が少なくなるような配慮も。先生方は問題を抱えた子どもたちが孤立しないよう、常に声掛けし見守っています。

水上 子どもは授業がわかると学校生活が楽しくなる。逆に授業がわからず学校が面白くないと、問題行動も多くなります。子どもが学校で過ごす時間は長いので、結局は少人数学級で目が行き届けば、学習面はも

ちろん家庭を含まさまざまな問題にも素早く対応することができるのです。

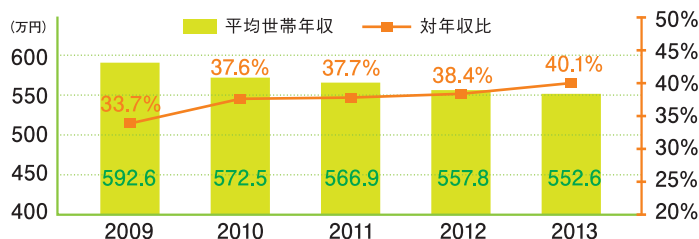
現場の努力と 教職員組合の支援で 子どもたちに安心して 学べる環境を

—福井県は全国に先駆けて少人数学級を実現してきたと聞いています。

水上 はい。平成16年に小6と中1の学級編成基準を下げるなど、県独自で取り組んできました。しかし全国的に少人数学級が広まりつつある中、最近では停滞している感もありません。

吉田 現在小学3、4年が40人学級のままですが、この学年は基礎学力や生活習慣の定着、仲間作りなどでも大切な時期で、ぜひ少人数学級を実現して欲しいです。カウンセラーや養護教諭、栄養教諭、事務職員の増員、障害児が学べる環境を整えることも大切です。県教組は毎年、教育条件の整備を求める教育請願を県議会に提出、子どもたちと、彼らを支える先生方のために動きかけています。

世帯年収と教育費の割合 (子ども2人の場合)



平成25年度 教育費負担の実態調査(日本政策金融公庫)



福井県教職員組合執行部と職員の方皆さん



子どもたちの未来を、もっとよくするために。福井県教職員組合は活動しています。

福井県教職員組合 〒910-8544 福井市大手2-22-28 福井県教育センター内 電話 0776-23-1887 ファクス 0776-23-2919 <http://www.ftu.or.jp/>